

新型コロナウイルス 市民を守るため ウイルス感染症から 全力をつくします



なんでも ご相談ください



青梅市議会議員

藤野ひろえ
日本共産党青梅市議団

2020年5月 藤野ひろえ市議会報告

連絡先 090-4003-9987

値上げではなく、医療やくらしの支援を

2月、3月の市議会は新型コロナ問題で日程を変更・縮小する中で行われました。青梅市では、今年度に医療、子育て、くらしで次々と「値上げ」が行われます。

私は、国民健康保険、後期高齢者医療、学校の給食費、市民プールなど値上げばかりの2020年度予算に反対の立場から討論を行いました。自民、公明、市民フォーラムなどの賛成で予算が可決されました。

反対討論では、昨年12月に市長や議員のボーナスを値上げしたことについ

ても、「今からでも元に戻すべき」と主張しましたが、5月の市議会で、ようやく6月のボーナスについて「2割削減」することが決まりました。

新型コロナ問題は、感染者数の減少も発表されていますが、見通しは不透明です。医療体制や高齢者、障害者施設、学校や保育園、学童など様々対策が必要です。

命とくらしを守るために、青梅市でも思い切って医療費や公的な負担を引き下げるべきです。

手洗い

外出自粛

感染予防と拡大防止が大事！

それでも
もし

熱

などの
症状が

出てしまったら



まず電話で相談を

「息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある」

「高齢者や基礎疾患がある人で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある」

「比較的軽い風邪が続く」の**一つでも該当する場合**

かかりつけ医

西多摩保健所

(0428-22-6141 平日9:00-17:00)

PCR検査

(もし「陽性」であれば、
入院・ホテル・自宅で療養)

新しい道

※青梅市医師会員の病院・診療所を受診すると検査の手配ができます(医師が必要と判断した場合のみ)

青梅市医師会のドライブスルーPCR検査

医師が必要と判断した場合に、電話での問診でもPCR検査(青梅市医師会の大変な努力で実現!)が受けられるようになりました。

熱のある方は病院等の中には入れません。大切なことは、まず医師に電話で相談することです。PCR検査は、実施場所に直接行っても受けられません。

かかりつけ医がない場合など、近隣の診療所や市の夜間・休日診療を受ける際も同様に、**まず電話で相談してください。**

青梅市夜間・休日診療(健康センター) 0428-23-2191

月～金曜日 午後7時45分～10時45分

土曜日 午後6時～9時

日曜・休日 午前9時～午後10時 ※いずれも受け付けは終了の15分前



くらしや営業にお困りの場合は



一人10万円の給付金(特別定額給付金)給付金

問合せ先 福祉総務課 青梅市役所(代表) 電話 22-1111
青梅市の郵送申請期間は6月1日~8月31日です

その他の
ことで

生活福祉資金貸付制度

問合せ先 青梅市社会福祉協議会(地域・相談係) 電話 0428-22-1233
最大、月20万円(無利子)×3か月、返済は最長10年以内

事業者の
方向け

国の
制度

- 収入が半減した事業者(フリーランス含む)への給付金で、最大200万円
- 問合せ先 中小企業金融・給付金相談窓口 電話 0570-783183
- 新型コロナウイルスの影響(学校の休校含む)から、従業員の休業(雇用維持)があった場合に、賃金の一部を助成する制度(雇用調整助成金、保護者の休暇取得支援)

問合せ先 ハローワーク青梅 0428-24-8609
学校等休業助成・支援金、雇用調整助成金コールセンター 電話0120-60-3999

都の
制度

- 対象の業種が自粛した場合に協力を支給する制度で、最大100万円
- 問合せ先 緊急事態措置等・感染拡大防止協力金相談センター
9時から19時(土・日を含む毎日) 電話03-5388-0567



支援策は国、都、市、民間の制度なども含めて非常に多岐にわたります。「どこに相談したらいいのかわからない」「窓口で電話したがつながらない」などお困りの場合は、**日本共産党青梅市議団・藤野ひろえ**にご相談ください

青梅市に相談する場合は

生活費・家賃にお困りの方

生活福祉課 市役所(代表) 電話 22-1111

営業関連でお困りの方

商工観光課 市役所(代表) 電話 22-1111

お体のこと、病院のこと

健康課 健康センター内 電話 23-2191

一斉休校など学校のこと

市教育委員会指導室 市役所(代表)22-1111

医療やくらしの支援策の抜本強化を

- くらしや営業の補償の拡充を
- 医療・高齢者・障害者施設への支援を
- 補償・給付の「支給までのつなぎ」策を
- 子ども・保護者の困難をよく聞き 学校現場の意見を反映する対策を
- 国民健康保険、保育、給食など減額し 就学援助の対象拡大を

青梅市今年度の大幅値上げ

均等割り 国民健康保険 年4700円 値上げ

収入がなくても課税される「均等割り」が、年4700円(40歳以上※)も値上げされます。お子さん二人の4人家族なら年1万7000円もの値上げです(世帯収入が少ない場合には減免)。その他、収入に応じた保険税(所得割)も値上げされます。※介護納付分含む

後期高齢者医療 年3926円 値上げ

75歳以上の方の保険料も、平均で3926円値上げです。この保険料は、東京都後期高齢者医療広域連合が決定するものですが、今ある基金を活用すれば値上げをおさえることができます。私たちは、「市として広域連合に値上げストップを求めよ」と訴えましたが、市長は「適正に決めている」として、認めてしまいました。

学校給食費 150円~350円 値上げ

昨年度、市が行っていた給食費への補助(年1800万円)をやめてしまったため、値上げとなりました。



新型コロナ問題で不安が広がり、収入が急になくなってしまった人が多くいます。医療や子育ての負担は今からでも軽減するように働きかけていきます。ぜひ、実態やご意見をお寄せください!

高齢者の居場所づくりを

一般質問

市は、3月末で閉館となった沢井地域保健福祉センターの建物を、地域の介護予防に役立つ事業を行うことを条件に民間に貸し出すことにしましたが、応募する事業者がありませんでした。



私は、市が入浴施設を直してから事業者を募集することや、地域包括支援センターとして利用することを提案しています。

また、高齢者の居場所づくりや介護予防は、市が考えている「自治会館の活用」といったやり方では、十分にできないと考えています。やはり、高齢者が生き生きと交流できる施設は減らすのではなく、「充実こそ必要」と訴えました。市長は「貸付条件の見直しを検討している」とはこたえたものの、地域包括支援センターの増設や新たな施設の充実などには後ろ向きです。引き続き、みなさんと力をあわせて高齢者の健康増進、生きがいづくり、介護予防のために頑張ります。

自転車通学生徒の保険加入 市が保険料を負担! 実現



東京都の条例で、今年4月から自転車の保険加入が義務付けられました(事故の相手に治療費などの補償のため)。

私は12月議会で自転車通学をする中学生について、自転車の購入費や維持費のほか、保険料の補助について質問していました。新年度予算では、市が団体に保険に加入し、1人千円の保険料は全額市が負担することになりました。自転車購入費や維持費などの保護者の負担等については、今後アンケートを実施するとのことでした。